

第8回 ICF地域連携パス事例検討会

ICFサマリーを活用した

拡大カンファレンスの可能性を考える

～入院中にADLが低下しサービス再編が必要になった事例～

今回は、下肢の蜂窩織炎で入院したAさんの事例検討を行います。入院当初は治療を終え元の生活に戻れると考えていました。しかし、抗生剤による治療が長引き、**ADLの低下**や退院後も下肢の処置が必要となりました。入院中に介護保険の**区分変更**を申請し、拡大カンファレンスを行い退院となりました。拡大カンファレンスでは、**新しく担当**となるケアマネジャーさんや訪問看護ステーションとICFサマリーを使用し、情報共有を行いました。各々の職種や事業所が持つ**情報を統合**し、必要なサービスを整えるために、ICFサマリーをどのように活用することが出来るのか、地域の皆さまと一緒に考えたいと思います。

日時 2023年10月12日（木） 17～18時

参加申込み



当日ZOOM参加

ミーティングID: 881 0206 9246
パスコード: 776097
16:30から入室できます

終了アンケート



① ICF地域連携パスの説明

京都民医連中央病院 師長 藤田 紫保

② 事例患者さまの紹介と入院中のICF評価とケアの実際

京都民医連中央病院 3C病棟 主任 高島 陽子

③ 事例患者さまの退院後のご様子やICF評価

居宅介護支援センターまごのて西陣 高橋 理絵子 様
仁和診療所 小島 眞由美 様
訪問看護ステーションそうま 中井 恵 様

④ 質疑応答

主催 ◆ 京都民医連中央病院地域連携パスPJチーム
問合せ窓口 甲田由美子（管理企画室）
寺内 桃子（師長室）
☎075-861-2220